

インナー大会プレゼン部門 2017 専用企画シート

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

大学名（フリガナ）	学部名（フリガナ）	所属ゼミナール名（フリガナ）
フリガナ）ドッキョウダイガク	フリガナ）ケイザイガクブ	フリガナ）オカベゼミ
獨協大学	経済学部	岡部ゼミ

※大会申込書時に記入したチーム名から変更することはできません。

※パワーポイント内に動画を使用している場合は「有・無」を記入してください。

チーム名（フリガナ）	代表者名（フリガナ）	チーム人数 （代表者含む）	PPT 動画 （有・無）
フリガナ）さしあたりちーむ	フリガナ）オバラ ソウタ	5	無
さしあたりチーム	小原 創太		

※プレゼンツールを使用する場合は記入してください。記入がないプレゼンツールは大会当日使用できません。

使用するプレゼンツール（具体的に使用するツールを明記してください）

研究テーマ（発表タイトル）

※必ず＜企画シート作成上の注意＞を確認してから、ご記入をお願いいたします。

1. 研究概要（目的・狙いなど）
近年、時差 Biz や人々の健康志向の影響により世間では「朝活」を推進する風潮が見受けられる。朝活とは普段より早く起床し、自分の興味関心のあることに時間を有効的に活用することである。そんな中、自分たちの経験や周りの声も含め、大学進学を機に生活リズムが乱れ、朝の時間を有効に活用することが難しい現状に陥る大学生が多いことがわかった。自己成長の最も大切な時期でありながら、生活リズムの乱れる大学生にこそ、「朝活」が必要なのではないかと考えた。そのため私たちは、多くの大学生が朝の有効的な時間を自己実現のために有効的に使えるために、朝をマネジメントするアプリを開発する。
2. 研究テーマの現状分析（的背景、マーケット環境など）

実際に大学生を対象にアンケート調査を行った結果、大学進学を機に生活リズムが乱れたと感じる学生が約 8 割にも達し、非常に多くの共感を得た。また朝活に関する意識調査に関しては、朝活を行いたいとの回答が 70 %を超えていたが、実際に朝活を行っている割合は 10 %に留まっている。この現状にアプローチをかける朝活支援はまだ広まっていないため、朝活を行うメリットは大きいのに関わらず実際に朝活に踏み切っている学生は少数であることが現状として挙げられる。

3. 研究テーマの課題

調査を進めるにあたり、大学生が朝活に興味、関心が高いのにも関わらず朝活が継続できない理由として、明確な目標設定をしていない、朝余裕をもって起きることが困難である、一人で行うが故に怠ってしまうという3点が原因であることが分かった。私達のアプリケーションを通じてこれら3点の懸念を解決し、朝活への障壁を取り除き支援していくことが課題である。

4. 課題解決策（新たなビジネスモデル・理論など）

そこで私たちは、朝活習慣化アプリ「You-Mo」を開発する。前述した課題に対して PDCA サイクルを元にした目標達成プロセスと、グループ機能によるソーシャル性、ゲーミフィケーションによるモチベーションの創出の3点を主な解決策として提案する。まず PDCA サイクルによる目標達成プロセスを導入する事により、明確な目標設定をしていないために朝活が続けられないという問題を解決する。目標を明確化するのに加え C と A の段階でアプリ側からユーザー個人の朝活定着率を考慮したプランを提案することで、より簡易的に目標達成プロセスを行うことができる。さらに、朝活定着率を自動評価し、目標朝活開始時間に段階的に近づけていくことで個人のペースで無理のない起床が望める。2点目にグループ機能を導入し、朝活がしたいという同じ目的意識をもった他者との関わりを持たせることで、一人で行うが故に怠ってしまうという問題を解決する。またグループ内で交流をすることで一人では満たされなかった承認欲求を得る事ができる。これら解決策により朝活実行障壁を取り除き朝活の持続、定着を図る。

5. 研究・活動内容（アンケート調査、商品開発など）

アプリ開発の機能面において実現可能があるかアプリ開発会社に訪問しお話を伺ったところ、実現可能で問題はないとお言葉を頂いた。またアプリを配信している企業を訪問しフィードバックを頂き、話し合いをかさねアプリの有効性を高めた。さらにアンケート調査により、朝活での目標設定や記録、ユーザー同士でシェアできるアプリの利用でモチベーションが維持できるかという問いに60%以上が「できる」と思うと回答していることからこのアプリの需要は十分にあると考えられる。

6. 結果や今後の取り組み

最初に、獨協大学の生徒を対象に発信していき、関東圏内の他大学、全国へと展開していく。まずはより多くのユーザー数の獲得を目的とし、ソーシャル性をより強めていく方針である。「朝活」という切り口から、自己管理能力を定着し、充実した大学生活を送る大学生を増やす。

7. 参考文献

<企画シート作成上の注意>

※本企画シートは審査の対象となり、予選会・本選の前に、実行委員会から審査員(ビジネスパーソン・大学教員)の方々に事前にお渡しいたします。

※本企画シートは、「日本語」で書かれたものとし、1チーム・1点提出してください。また、インナー大会・東京経済大学大会終了後、プレゼン部門にご協力いただいている日経BPマーケティング社様に作製していただく大会結果HPに本企画シートは掲載されます。

※本企画シートの項目に沿って、ご記入をお願いいたします。各項目に文字数制限はありませんが、1～7以外の項目を追加することは「不可」とさせていただきます。

※本企画シートは、インナー大会プレゼン部門実行委員会への連絡事項と企画シート作成上の注意を含め、4ページ以内に収めてください。実行委員会から審査員に渡す際は、A4サイズでプリントし、4ページ目までをお渡しします。

※大会参加申込み時点から、チーム編成の変更(チームの人数・交代など)は、「不可」とさせていただきます。ただし、チームメンバーの留学等やむを得ない事情でチーム編成に変更が生じる場合は、実行委員会(プレゼン局)にご連絡ください。実行委員会側で協議のうえ、ご返答いたします。なお、参加申込書提出時からのチーム名変更は「不可」とさせていただきます。

※企画内容は、未発表の(過去に他誌・HPなどに発表されていない)ものに限りです。ただし、学校内での発表作品は未発表扱いとなります。

※商品写真、人物写真、音楽などを掲載・利用する場合、必ず著作権、版権の使用許諾を得てください。日本学生経済ゼミナール関東部会・日経 BP 社・日経 BP マーケティング社は一切の責任を負いません。

※書籍や新聞等の文献から引用した場合は、出典先（使用した文献のタイトル・著者名・発行所名・発行年月など）を明記してください。統計・図表・文書等を引用した場合も同様に明記してください。また、Web サイト上の資料を利用した場合は、URL とアクセスした日付を明記してください。

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

※パワーポイント内で動画を使用する場合は、必ず「有」とご記入ください。動画を使用する際の注意事項は参加要項に記載しております。

※プレゼンツールを使用する場合は、必ず企画シートにご記入ください。企画シートにてご記入が無い場合、発表当日のご使用を「不可」とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

↑ ここまでを 4 ページ以内におさめて、提出してください